

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



関琥珀 くん
(令和3年11月生まれ・尾崎)
初めてのイチゴ狩り♪これからも笑顔が溢れますように
(父：星矢、母：祐希)



酒寄歩 くん
(令和2年11月生まれ・西牛谷)
いたずら大好き歩くん。家族みんなの宝物だよ！
(父：拓也、母：恵)



堀口丈 くん
(令和4年8月生まれ・横山町)
毎日笑顔をありがとう！たくさん一緒に笑おうね！
(父：芳起、母：夏鈴)



山室世那 くん
(令和3年12月生まれ・下辺見)
お外が大好き！これからもたくさん思い出作ろうね♡
(父：博信、母：沙理奈)



キラリ 古河ビト

世界のみならず楽しみたい

WSJスケートボード2023年強化指定選手
長谷川瑞穂さん(12歳・新久田)
4月12日〜16日に笠間市で開催された「マイナビスケートボード日本OPEN」のパーク女子で優勝した長谷川さん。国内トップレベルの選手が集う中、練習では成功しなかった技を決めるなど勝負強さを発揮しました。パリ五輪出場を目指す長谷川さんにスケートボードの魅力などについて伺いました。

スノーボードの選手だった母の影響で、5歳からスケートボードを始めた長谷川さん。笠間市や千葉県、埼玉県などにある施設で、平日は3時間以上、休日6〜8時間ほど練習に励んでいます。
競技では特にスピードや高さが要求されるため、怖いと感じることもあるのですが、難しい技が成功した瞬間の嬉しさや楽しさは格別。またそれ以上に、性別や年齢、国籍を越えてたくさんの人と交流できることがスケートボードの魅力だと思います。試合ではライバル同士でも、技が成功したときは一緒に喜びを分かち合うのがスケートボード文化の特徴です。
5月に千葉市で開催された国際大会の「Xゲーム」では、天候の影響で決勝戦が行われず悔しい結果となりました。その悔しさをバネに、どんな環境でも実力を発揮したいという強い気持ちで日々練習を重ねています。10月にローマで開催される世界選手権ではさらなる活躍が期待されます。
「目標はパリ五輪の出場だけど、順位を意識し過ぎずに楽しく滑りたい」と語る長谷川さん。自分の演技を通してスケートボードの楽しさを広めていきたいと屈託のない笑顔を見せてくれました。



▲日本OPENで獲得した金メダル



▲スタート直後にみせた大ジャンプ



▲フロントサイドステールフィッシュエアー

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0〜3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課TEL92-3111)へ申し込みください



わたしの夢

日本を明るくする警察官に 中村ユナさん 水海小学校6年生

私の将来の夢は、警察官になることです。
私がこの夢を持った理由は、日本が明るくなってほしいと思ったことと、警察官という仕事がかっこいいと思ったからです。
これから、この夢をかなえるために、警察官にとって大切な国語、英語、算数の勉強をがんばりたいです。また、分からないところがあったら、先生や友達に聞いたり、教科書やノートを見直したりすることを大切にして、将来の夢をかなえたいです。

